

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

4月号(NO31)通巻 181号

2021年4月10日(土)発行(毎月10日)

【農暦】もうすぐ春ですね恋をしてみませんか！

○春から夏になったかと思うような気温になる。上着を脱ぐ人もある。その次の日は、花冷えというが、寒の戻りで肌寒い。着るものに迷う。コロナ禍にあってか、花々が次々に咲き、新緑が特に眩しく感じる。4日は清明で、若葉が萌え、花が咲き、鳥が歌い舞う、生命が輝く季節とある。当に清明の時である。

○コロナ感染が止まらない、4次の山が始まりそうな気配である。コロナ禍の先が見えない。自粛疲れ、3密違反のニュースも頻発している。コロナワクチン接種に期待する声も聞かれるが、諸外国と比べ桁外れに遅れている。接種完了人数で米国6193万人インド1024万人日本24万人と知り愕然とする。ジェンダーフリーでも156ヶ国120位である。国際比較をして見えるものがある。この辺は知るところだが、井の中の蛙でないか心配になる。

○詩吟で習った中に、唐の白居易の“春風”がある。花々が次々に咲く様子を詠っている。長安の春は素晴らしかったのだと思う。こんな詩情に浸たって見たい気分にもなる。草花が、新緑が、コロナ禍を癒してくれそうな気がする。自然の恵みは大事にしたい。

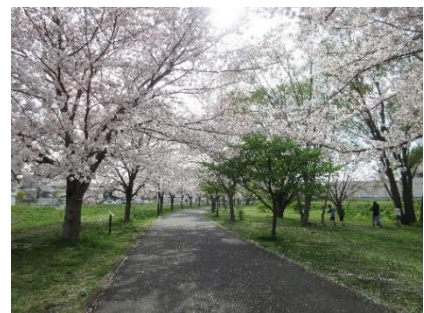
○畑の周辺に緑が目立って来た。思わぬところで花を付けている。スモモの花、椿、沈丁花、ブルーベリーも花芽を付けている。周りの山々も新緑になって来た。鶯の鳴き声も。“もうすぐ春ですね恋をしてみませんか”と口ずさみたくなる。キャンデーズの歌フレーズである。古いですね。そんな陽気である。

○荒れた畑と周辺の整備を彼岸までにはと思っていたが、自己満足の加点をしても70点位の進捗である。少し加速したいと思っていた矢先に、手が痛い、歯の奥か耳が痛い。医者に薬を処方されたが中々治らない。免疫力が落ちているようである。

○春耕した場所に3畝、ジャガ芋を植えた。芽が少し出始めい
る。絹さやの網支柱を作った。園芸店には苗が出始めている。藤の花が咲くと霜はないという。トマト、茄子、ピーマンなど植える準備をしたい。身体と折り合いをつけながら、楽しく実りある菜園を目指したい。(了)

【楽農】<畑>草刈り、雑枝木の片付け、絹さやネット支柱、じゃが芋植え込みなど。

【楽市】イベントなど；詩吟例会(11、25、8日)共生の会、川柳の例会(1日)ごみを考える会(18日)。3密を避けながら活動は徐々に始まっている。



<桜満開>散歩ウォーク
で。29日撮影



<宴会禁止>29日撮影

【つぶやき=Tweet】物質的豊かさの中で失ったものが多かった！

○『北の国から’ 87 初恋』が追悼特別番組として3日に再放送されていた。田中邦衛さんが88歳で24日に亡くなられていた。たまたま見る機会を得た。富良野の自然の素晴らしさにも魅了されたが、描かれた人間模様も素晴らしかった。物質的豊かさの中で失ったものが多かったことを見せつけられる思いがした。今、贅沢な家、旅行、グルメなどキャッチコピーが氾濫している。物の貧しい時代を経験した者としては夢の様な生活である筈である。だが満たされないものがある。貧し時代にはあった“北の国から”の人間関係が希薄になっているような気がする。

○最近スーパーで買い物をよくする。よく判らないものがある。同じ食パンが半額以下で同じ棚で売られている。こんな商品がいろいろある。消費期限や品質に難ありでもない。特別仕様（金持ち用）と一般仕様の商品が同じ棚にあるように見える。価値の差が判らない。消費の格差が、ここまであるのかと思うと複雑な気分になる。金もないが、価格優等生の納豆、玉子、もやしなど好んで買う。日銀が2%インフレを掲げ、久しいが、給料上がらず、先行き不安では、安易に買い物は出来ない。コロナ禍の10万円給付が貯金に回ると麻生財務大臣は言うが、庶民の不安が理解できると思えない。

○最近、格差が拡大している。安倍政権発足頃から特に感じる。格差社会は、やはり政治の問題である。コロナ禍は更に拍車をかけている。勝ち組、負け組という言葉があるが、負け組には、生き辛い社会になっている。貧困は隠されると云うが、豊かな消費生活を見せつけられたら惨めな気持ちになる。世界的にも格差が進んでいる。モノカルチャー的な経済発展は、豊かになる人々が生まれる一方で新たな貧困が生まれる。貧しいなりに穏やかな生活が壊されたという。新たな格差社会が世界規模に進んでしまう。フェアトレードの話が最近聞かなくなったが、この活動だけでは解消できないかも知れないが、格差貧困に焦点を当てる意味で、この視点は大事である。国連のSDGSは進んで欲しい。

○格差が偏見を生む。最近、ヘイトスピーチ、人種差別、それに排外主義、覇権主義などの言葉を多く聞くようになった。排外主義を煽っているようなテレビ番組を見ると怖い。MC 人事やタレント発言に必要以上の干渉は赤信号である。忖度に繋がってはならない。

“北の国から”の世界には希望があった。政治で世の中は良くも悪くもなる。秋までは選挙がある。誰かが言っていたが“自立市民”でありたいと。より良い政治を選びたい。政治に希望を持ちたい。（了）

前号訂正；女性の自殺、誤 934 人正 7,025 人。

○断捨離考：写真の整理少々、通常廃棄のみ。

【後記】草花が咲き、山肌が新緑萌え、春が！

【HP；kogure農場に転載しています】



<つつじ>小さな庭で。

4日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com